

大家族 気持ち晴れるや

かぞくの肖像 KAZOKUNO SHOZO

同志社大一神教学際研究センター長

♡ 小原 克博さん

🐾 (左から) ゆず(7ヵ月)、モモ(11歳)、
クララ(2歳)

□こはら・かつひろ 1965年生まれ。専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究。著書に「神のドラマトゥルギー」「宗教のポリティクス」。

■ゆずはヨークシャーテリア、モモはダックスフント、クララはチワワ。

一つ屋根の下に夫婦と子ども4人、犬5匹の大家族です。

11年前、わが家に最初に迎えた犬はモモ。生後2ヵ月でした。病気で入院していた当時10歳の長男が退院した日にやって来ました。「おめでとう」の意味を込めた、ちょっとしたサプライズです。

その後、同じダックスフントのノエル(オス6歳)とナッツ(メス4歳)が来て、一昨年はクララ、昨年はゆずが仲間入り。子どもの成長の節目ごとに増えています。

これだけ犬に囲まれると、1匹1匹に個性があることがよく分かります。モモはおとなしく、クララはお利口さん、ゆずは人なつこい……。犬も社会を作ります。古株のモモは一目置かれているようで、みんなで散歩中も後ろからゆつくり歩き、前を行くやんちゃなノエルが時折立ち止まって待ちます。

わが家では人間が上位ということではないようです。以前、子どもたちを叱るため年の順に並べようとしたら、モモが自分も責任があると思ったのか、三男と末っ子の長女との間に割り込んで来ました。忙しくて相手をしてやれないのに寄ってくる犬には「ダメ」と怒るのではなく、その理由を説明します。子どもへの接し方と同じです。

小さいころから動物が好きで、いろいろ飼ってました。今は大学で宗教学を教えています。が、人間と動物の関係を見れば、その社会の価値観や宗教観が見えてきます。でも、私に家に帰った時の喜ぶ姿を見ると、理屈抜きに癒やされますね。

